



神奈川県立音楽堂
Kanagawa Prefectural Music Hall
〒220-0044 神奈川県横浜市西区
紅葉ヶ丘9-2
045-263-2567



神奈川県立青少年センター
Kanagawa Prefectural Youth Center
〒220-0044 神奈川県横浜市西区
紅葉ヶ丘9-1
045-263-4400



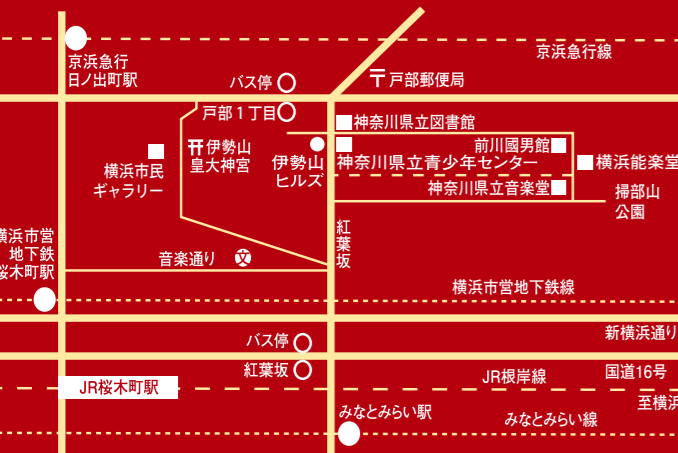
神奈川県立図書館
Kanagawa Prefectural Library
〒220-8585 神奈川県横浜市西区
紅葉ヶ丘9-2
045-263-5900



横浜市民ギャラリー
Yokohama Civic Art Gallery
〒220-0031 神奈川県横浜市西区
宮崎町26-1
045-315-2828



横浜能楽堂
Yokohama Noh Theater
〒220-0044 神奈川県横浜市西区
紅葉ヶ丘27-2
045-263-3055



横浜・紅葉ヶ丘へのアクセス

- 電車**
 - JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄桜木町駅 徒歩 10分
 - 京浜急行日ノ出町駅 徒歩 13分
 - みなとみらい線みなとみらい駅 徒歩 20分
- バス**
 - 横浜市営バス・京浜急行バス・神奈中バス「紅葉坂」ほか徒歩 5分
【横浜駅東口バスターミナルから乗車】



facebook.com/momijigaokamylan/



twitter.com/mylan5kan

詳細は、各館のHP、
または上記まいらんSNSをご覧ください！

※見学会では、このパンフレットにある写真の箇所が全て見られるわけではありません。
※状況により日時・内容・定員等が変更となる場合がございます。

編集・発行：紅葉ヶ丘5館連携会議・2023年9月 禁無断転載・複写

YOKOHAMA MOMIJIGAOKA MYLAN
秋のスタンプラリー
11/1 Wed.~11/5 Sun. 2023

スタンプラリー期間中下欄に各館全スタンプを集めた方、
先着 1000 名様にオリジナルグッズをプレゼント！
さらに抽選で豪華賞品応募のチャンス！
詳しくは裏面 SNS をご覧ください。

神奈川県立音楽堂

スタンプラリー受付：
チケットかながわカウンター
13:00 ~ 17:00

神奈川県立青少年センター

スタンプラリー受付：
1階ロビー入口左側階段横
9:00 ~ 17:00

神奈川県立図書館

スタンプラリー受付：
本館入口入ってすぐ(ギャラリー横)
9:00 ~ 19:00
9:00 ~ 17:00 (土日祝)

横浜市民ギャラリー

オリジナルグッズ引換：
4階ギャラリーオフィス

スタンプラリー受付：
1階エントランス
10:00 ~ 18:00

横浜能楽堂

オリジナルグッズ引換：
チケット窓口

スタンプラリー受付：
チケット窓口
9:00 ~ 17:00

伊勢山皇大神宮

スタンプラリー受付：
社務所前カウンター
9:00 ~ 17:00

伊勢山皇大神宮

伊勢山皇大神宮は1870年に創建され、2020年に創建150年を迎えました。御祭神は天照大御神。創建以来、神奈川の宗社・横浜の総鎮守として、横浜の街と港を見守り続けており、神奈川県内外、横浜市内外の方から広くご崇敬をいただいています。



Ise-yama Kotai Jingu

能舞台の裏、
鏡の間から、
橋掛りへ。

Yokohama Noh Theater

横浜能楽堂

[木の貯水槽・舞台裏の見学日]

11/3 (金・祝) ①11:00~12:00 ②13:30~14:30

※定員各回 20名 10/13 (金) 14:00 ~ 事前予約 (電話・WEB)
階段上り下り有 / エレベータ無。舞台裏は靴下等の着用が必要。

能舞台の幕は五色。陰陽五行の「木火土金水」を表すという説があります。竹の棒を持って、2人で揚げます。幕の先には橋掛りがあり、舞台と幕を結びます。

国内でも珍しい
木の貯水槽

直径3m、高さ3.6m
で22トンの水が入り
ます。材質はカナダ
産のヒバ材。製造方
法は底板に側板の木
を立てて釘・接着剤
を使わず組んでいき
バンドで締め付けま
す。



能の囃子の一つ、
大鼓の革を
焙じるための火鉢

大鼓は革を乾燥させること
により、澄んだ高い音が出
るようになります。大鼓方
は能が始まる2時間位前に
楽屋入りし、革を焙じて舞
台に備えます。

**YOKOHAMA
MOMIJIGAOKA
MYLAN**



秋のスタンプラリー・見学会

文化の薫り、
きく丘。



2023

横浜・桜木町の歴史を見守ってきた「紅葉ヶ丘」。
喧騒から離れ「聖域」のような静けさをたたえた丘に
点在する五つの文化施設 通称「まいらん」。
芸術、文化、歴史、そしてあなたの感性と
五感を刺激する五館と伊勢山皇大神宮を、
秋の気配とともに散策してみませんか。

このリーフレットでは、各館のおすすめスポットや
普段は立ち入ることのできない場所などもご紹介しています。

[スタンプラリー] 11/1 (水)~11/5 (日)

[見学会]

横浜能楽堂	11/3 (金・祝)	①11:00~12:00 ②13:30~14:30
神奈川県立音楽堂	11/3 (金・祝)	15:00~16:20
神奈川県立図書館	11/4 (土)	10:30~12:00
神奈川県立青少年センター	11/12 (日)	15:00~16:00
横浜市民ギャラリー	11/18 (土)	10:00~18:00

Kanagawa Prefectural Music Hall

神奈川県立音楽堂

[ミニコンサート付フリー見学会]

11/3(金・祝) 15:00 ~ 16:20

(ミニコンサート: 15:20 ~ 15:50) ※予約不要

東洋一の響き、と愛されて 「木のホール」の舞台



モダニズム建築の旗手、前川國男の名建築として知られる音楽堂。鉄筋コンクリートの外構の内側に、壁、天井、芯材まで全て木で造られた内構がすっぽり収まっています。開館以来69年、この木が聴き続けてきた名演奏の響きは、空間の中に今もこだましています。



職人の技が想いを伝える ロビー階段の木の手すり

客席へと急ぐ時何気なく触れる階段の手すり。磨きこまれた木のぬくもりが人の手の形にびたりと添います。当時の技術の粋を集めて創られた音楽堂には至る所に職人技が。その技にこめられた想いも、音楽堂の感動体験の一部です。



©S.Aoyagi

明るい未来へ。 光と希望を宿し、 林立する「近代の木」。

戦後、明るい社会を展望し、人々の心を音楽で照らすべく生まれた音楽堂。陽光溢れるホワイエを囲む窓ガラスがいま映すものは…。リズムカルに並ぶ軽快なコンクリートの柱には木目が。

Kanagawa Prefectural Youth Center

神奈川県立青少年センター

[屋上開放]

11/12(日) 15:00 ~ 16:00

※定員30名、11/1~7に要事前電話予約 045-263-4475



プラネタリウムは 星空教室と共にいつまでも

撤去されたプラネタリウムには屋根がかけられ、夜はビスタ(視線)を生かした星空教室の会場として魅力ある屋上です。近代的なみなとみらいの景色や天候の良い日は富士山が一望できます。



奈落に張り巡らされた 「廻り舞台」の車輪

県立青少年センターは、演劇の上演を想定した最初の「県民劇場」として設計された歴史があり、歌舞伎上演に適した仮設花道や「迫り」、県内で唯一現役で稼働する「廻り舞台」など個性的な設備を備えています。



客席天井裏の迷路的空間 キャットウォーク

客席天井裏には、キャットウォークと呼ばれる狭い作業用通路が張り巡らされています。そうは見えませんが、ここは客席の上、約13m、舞台用投光室へ続く過酷な道です。技術者しか入れない秘密の場所。

Kanagawa Prefectural Library

神奈川県立図書館

[図書館の過去と現在(上映会)]

11/4(土) 10:30 ~ 12:00

※予約不要



引き継がれる 居心地の良い空間

県立図書館本館は前川國男館(旧本館)の意匠を引き継ぎ、透明感や開放感にこだわった居心地よい空間となっています。日射を制御しながら自然光を取り入れるホローブリックの機能も有孔木パネルで生かされています。



「解体新書」 (本文4巻4冊付図1冊、 1774(安永3)年刊)

江戸後期、日本の医学の近代化に大きな役割を果たした「解体新書」。県立図書館では、1774年発行、木版刷り和本の初版本を所蔵しています。医学史、美術史の両面で貴重な本物に接する感動はきっと大きいことでしょう。

本館3階 ザ・リーディングラウンジ 椅子

本館の椅子はいずれも本を読むという行為に集中できることを追求したオリジナルのデザインです。材質や角度など様々な工夫により、体全体が包み込まれるような、ゆったりとした座り心地を実現しています。



Yokohama Civic Art Gallery

横浜市民ギャラリー

[フリー見学会・まいらん紹介パネル展]

11/18(土) 10:00 ~ 18:00

※予約不要(開催中の展覧会も無料観覧可能)



アートな空間へ誘う、 玄関口

1964年に開館した横浜市民ギャラリーは、2014年に関内から移転し、この地にリニューアルオープンしました。建物は、旧「いせやま会館」を改装し、「国際港横浜」を象徴する、港のコンテナをイメージした正面玄関を新たに増設しました。



《吾輩は石である》 高橋浩之作

御影石が素材の彫刻。「横浜彫刻展 YOKOHAMA BIENNALE '91」の入賞作品です。もとは、港南台駅周辺のパブリックアートでしたが、市民ギャラリーのリニューアルオープンと同時に移設。毎日、ギャラリーを屋外から見守っています。

アートの「今」がわかる DMラック(1階エントランス)

旧「いせやま会館」の外壁をそのまま設えたエントランス。琥珀色のタイルが落ち着いた空間を演出しています。展覧会PRのためのチラシやDM葉書を多数揃え、最新のアート情報を入手できる知る人ぞ知るスポットです。

